



※『行政自治会だより』は古河市公式ホームページ（市民協働課）からもご覧いただけます。

回覧

行政自治会だより

令和3年2月1日発行

第29号

■発行所／古河市行政自治会

事務局 TEL 0280-92-3113

■発行人／会長 塚田 長剛

新年のごあいさつ



古河市行政自治会
会長 塚田 長剛

令和3年新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、穏やかに新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

昨年から続く新型コロナウイルスの感染状況は、依然として予断を許さない状況です。

経済の状況は、上場企業の中間決算をみると、外出自粛、巣ごもり需要で通販業界、「鬼滅の刃・・・」、家電量販店が好調ですが、航空や鉄道、バスなどの交通機関や飲食店を取り巻く経営環境は厳しいものがあります。私も昨年10月、福島温泉に旅をしましたが、

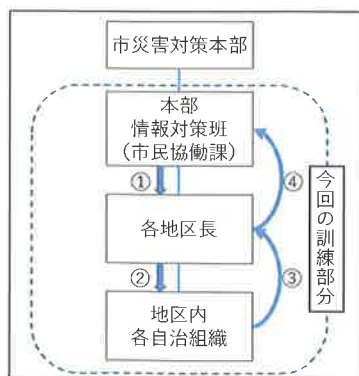
高速道路では観光バスを一台も見かけませんでした。

さて、行政自治会が関連する活動については、「市民総ぐるみ清掃」や「古河市行政自治会視察研修」の中止、「はなももマラソン」の開催延期など影響が出ています。また、自治会・行政区単位の行事については安全最優先に、しっかりと三密対策を施し、少しでも地域活動をしようと努力している行政自治会もあります。今は「コロナにかからない、コロナをうつさない」が一番の考えの基に、会員皆様のより一層のご協力をお願いいたします。

結びになりますが、新しい年を迎えて皆様にとって良い年になりますよう、心よりお祈り申し上げまして新年のごあいさつといたします。

緊急連絡伝達訓練を実施しました

令和2年9月1日（防災の日）、12時10分から13時30分。地区長、自治会長、行政区長を対象に大雨による警戒レベル3が発令されたことを想定して防災・防犯情報メールを利用した訓練を実施しました。有事の際は、メールでの連絡が有効です。古河市行政自治会でも緊急連絡はメールで一斉送信できるよう自治会長・行政区長へ登録をお願いしています。



訓練伝達経路図

義援金を贈呈しました

令和2年10月19日。古河市役所市長公室にて、日赤茨城支部古河市地区地区長である針谷市長へ令和2年7月豪雨災害義援金を贈呈しました。近年災害が頻繁に発生し、自治会・行政区など、近隣の繋がりの大切さを改めて感じております。『困ったときはおたがいさま』の精神で集めた義援金は、総額4,761,429円となりました。ご賛同いただいた皆様には心より感謝申し上げます。



目次（2ページ目以降）

2P・3P 地域の話（過去のイベントを写真で見ると）

4P 市内歴史散歩（宝蔵寺（諸川））

地域の話題 (過去のイベントを写真でみる)

① 第4地区の中田町自治会で毎年8月上旬に行われている納涼祭です。平成16年頃から始まったこのお祭りは、鶴峯八幡宮の広場で舞台の周りを屋台で囲み、大勢の人でにぎわいます。写真は昨年のもので、子ども会のみんなが元気に歌ってくれました。



① 【中田町自治会】—納涼祭—
(令和元年撮影)

② 昭和41年3月「三杉丘団地造成計画」に基づき3DK50戸の建売住宅完成、順次、年度計画により入居し、今では約370戸となっています。写真は昭和52年に10周年記念行事として盛大に行われた盆踊りの模様です。



② 【緑町自治会】—盆踊り—
(昭和52年撮影)

③ 令和元年8月15日、花火の合図で始まった納涼盆踊り大会。このお祭りは昭和30年代から現在まで続いており、踊り・模擬店・花火・抽選会と内容も盛りだくさんです。ワンチーム駒羽根での大行事、子ども達もたくさん集まり、楽しい夏の夕暮れを過ごしました。

③ 【駒羽根行政区】
—納涼盆踊り大会— (令和元年撮影)



④ 【諸川地区】—長宮神社夏祭り— (昭和30年代後半撮影)

④ 日本経済が大きく成長した昭和30年代後半に撮影されたこの写真は、諸川の地に鎮座する「長宮神社」の夏祭りでの1コマ。ねじり鉢巻き姿の若者からは、当時の世相を反映した熱気と活気が伝わってきます。

過去のイベントなどの写真を集めました。昔を思い出してみてください。



⑤ 【けやき平自治会】
—けやき平まつり—
(令和元年撮影)

⑤ けやき平自治会まつりです。子ども会のお母さんと子どもの手作りで楽しくやっています。例年子どもには大人気で長蛇の列ができます。焼きそば、豚汁、ビンゴ(全て500戸分) 輪投げゲーム(老人会)とバラエティにとんだ祭りです。約10年前から始まったこの祭りは、三世代が楽しむ、自治会員同士の交流と絆を育んでいます。



⑥ 【仁連御辺行政区】—奉納相撲— (昭和28年撮影)

⑥ 写真右側にある仁連天満社は1640年に、時の大將軍徳川家光から圭田三石(けいでんさんこく)を賜ると共に、その命により祭典も行われるようになりました。元禄年間(1700年頃)に仁連村の町昇格謝意により奉納相撲も行われていました。

⑦ 昭和四十年五月九日。県道拡張工事の影響で、悲痛の思いで伐採を決定しました。御神木を忘れまいと地域の方々で集まり、記念撮影をした際の一枚。伐採した樹木は当時の四十三万円と高額で売却されました。



⑦ 【柳橋行政区】—樹齢約700年の御神木—
(昭和40年撮影)



⑧ 【大和田上・下行政区】—大和田磐戸神楽—
(平成4年撮影)



⑨ 【上片田宮前行政区】—夏祭り—
(平成10年代前半撮影)

⑨ 昭和58年上片田行政区より分離した新興住宅地の「上片田宮前行政区」では「宮前行政区夏祭り」を平成18年まで実施していました。夏祭りは子ども神輿・盆踊り・カラオケ・模擬店等を実施し大人から子どもまで一緒にお祭りを楽しみました。

市内歴史散歩（第26回）宝蔵寺（諸川）

宝蔵寺は古河市諸川に所在する真言宗の寺院です。諸川は江戸時代に境河岸から当地を経て結城に抜ける日光東街道（主要地方道結城野田線）の

宿場町として栄えました。同寺はその宿場町のほぼ中心に位置し、中世以来の由緒を持つ古刹として今日まで連綿と存続してきました。それ故、数多くの文化財が保存され伝えられています。

寺伝によると、その創建は不明とされますが、室町時代の康正3年（1457年）山川讃岐守景貞により円福寺（現下妻市）から住職を招いたことが「山川景貞寄進状」に記録されています。さらに



木造 薬師如来立像
（宝蔵寺蔵）

文明2年（1470年）に入寺した性宥を中興の祖としており、現住職宥広を42世としています。宝蔵寺には鎌倉時代前半の制作になる薬師如

来立像と大日如来坐像が伝存することから、その創建が鎌倉時代まで遡ることができると推測されます。また、同寺には室町時代前半の両界曼荼羅が現存します。

江戸時代には、宝蔵寺は本山を高野山金剛三昧院とし、末寺11カ寺を有する中本寺（田舎本寺）と呼ばれる寺院でした。3代将軍家光以来諸川村



家光公朱印状（宝蔵寺蔵）

内に8石の御朱印地（免税地）を有していました。

境内には、本堂・客殿・庫裏・寝所の居住空間があり、山川景貞寄進と伝わる薬師堂や、香取宮をはじめとする神社が5社、その他楼門・長屋門もありました。境外には同寺が管理する（別当）神社が14社ありました。

明治時代には新政府による神仏分離令や廃仏毀釈運動による存亡の危機、そして戦後の経済的基盤の破壊等を檀家の皆様と共に乗り越えて現存し地域の中心として継続できていることは奇跡的であります。（参考資料：古河市三和資料館『宝蔵寺のたからもの』（宝蔵寺 住職 湯澤 宥広）



宝蔵寺の本堂

行政自治会広報委員会

委員長	長 濱	忍
委員	鶴 見	尚 司
	廣 瀬	健 二
	小 川	久 雄
	箭 内	忠 喜
	小 森	谷 操
	塚 田	邦 幸
	梅 津	信 男
	日 毛	進 一

編集後記

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響で行政自治会事業を始め、各地区の事業も相次いで中止となってしまいました。これまで、市民の皆様には最新の情報をお届けしてまいりましたが、今号では、古河市合併以前からの各地区の懐かしい事業を特集してみました。

時代は、昭和、平成、令和と変わりましたが、人のやさしい心、思いやりの心は変わらずにいてほしいものです。また、今年は充実したニュースをお届けできますよう努力してまいりますので、ご支援ご協力をお願い申し上げます。
（広報委員長 長濱 忍）